

施策評価シート（令和4年度 実績）

基本目標	ひとが集い、安心して暮らせる魅力的な地域をつくる
------	--------------------------

施策評価（施策主管部長）

施策	地域コミュニティの醸成支援	評価者	政策部長			
施策内容	人口減少・少子高齢化の進展に伴い、地域組織の機能縮小が危惧される中、地域の魅力の創出や地域事業の見直し、地域組織の再編検討などにより、自主的な地域組織の強化を支援します。					
主な事業	予算等事業名		行政評価結果	KPI達成への有効性	説明	
	1	地域再生事業	-	-	令和3年度で事業廃止	
	2	町民活動推進事業	適当	有効だった	ステップアップ支援については十分な活用が図られた。	
	3	防災訓練・自主防災組織育成事業	適当	有効だった	各種訓練・研修会、講演会等をコロナ禍以前と同等に実施できた。	
重要業績評価指標 (KPI) ①	指標名	住み続けたいと思う一色小学校区内住民の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	79.6	82.6	84.6	86.0	B
	実績		80.0	87.7	78.7	
	分析	事業廃止に伴い、全町的な地域活動の活性化を測る必要がある。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案	【削除】		
重要業績評価指標 (KPI) ②	指標名	地域活動に参加している人の割合（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	26.5	27.0	27.5	28.0	B
	実績		29.5	32.0	25.9	
	分析	町民活動推進補助金を活用した積極的な提案はあるが、自治会等の運営に課題がある。				
	方向性	継続推進	目標値（指標）の見直し案	-		
重要業績評価指標 (KPI) ③	指標名	消防団員の充足率（％）				
		基準値	R2	R3	R4	達成状況
	計画	97.4	98.7	100.0	100.0	B
	実績		98.7	100.0	92.0	
	分析	消防団の充足率では施策の進捗が測れないため、次期計画では指標を変更する。				
	方向性	指標の見直し	目標値（指標）の見直し案	自主防災訓練を実施している地区数		

達成状況：A 達成（100%以上）、B 概ね達成（70%以上）、C 充分とは言えない（50%以上）、D 未達成（50%未満）

施策の取り組み	成果	<ul style="list-style-type: none"> ・一色小学校区地域再生協議会は、地域との連携強化を図り、令和4年4月から「一色小学校区元気なコミュニティ協議会」として自立した活動を展開している。 ・町民の防災意識を向上させる各種訓練や研修、講演会等はコロナ禍以前と同等に実施できた。 			
	課題	<ul style="list-style-type: none"> ①町民活動推進補助金のスタート支援補助金の活用団体が少ない。 ②自治会等の運営に必要な地域役員のなり手不足が深刻化している。 			
	改善点 (課題番号 に対応)	<ul style="list-style-type: none"> ①スタート支援補助金の周知方法をはじめ制度内容の見直しを図っていく。 ②地区の負担軽減を含めた持続可能な地域づくりについて、引き続き地区長連絡協議会で情報交換などを行い、検討していく。 			
	評価	<input type="checkbox"/>	地方創生に非常に効果的であった	<input checked="" type="checkbox"/>	地方創生に相当程度効果があった
		<input type="checkbox"/>	地方創生に効果があった	<input type="checkbox"/>	地方創生に対して効果がなかった

外部評価（二宮町政策評価委員会）

施策評価	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け対象や規模等の拡充が必要	<input checked="" type="checkbox"/>	施策実現に向け順調であるため継続実施
	<input type="checkbox"/>	施策実現に向け課題があるため見直しが必要		
意見	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の役員のなり手が不足する中、行事や役職を精査し、防災や防犯といった必須なものに集約していく必要がある。 ・地区の組織運営にも影響するため、行政と連携した後継役員探しについても検討してもらいたい。 ・第3期総合戦略の中でも継続されるKPI②「地域活動に参加している人の割合」については、地区長連絡協議会などの意見を取り入れて、施策の成果が見えるKPIとなるよう工夫する必要がある。 ・町民活動推進補助金について、いかに活用団体が活動を継続できるかが重要であるため、補助金に頼らず自立した活動ができるように支援していく必要がある。 ・地域コミュニティの醸成には住民の協力が欠かせないため、住民が積極的に企画の提案や地域コミュニティ活動への参加ができるような環境を作っていく必要がある。 			

今後の方針（二宮町総合戦略推進本部）

	予算等事業名		行政評価の 方向性	総合戦略	
				方向性	特記事項
各事業の 今後の方向性	1	地域再生事業 (担当課：地域政策課)	—	—	—
	2	町民活動推進事業 (担当課：地域政策課)	要改善	見直し	<ul style="list-style-type: none"> ・自治会等の役員のなり手不足が深刻化する中、地区長や民生委員といった町が選任を依頼している役職の業務を精査していく。 ・町民活動推進補助金は、活用の少ないスタート支援について制度を改善するとともに、補助金の活用団体の自立に向けた支援を強化していく。
	3	防災訓練・自主防災組織 育成事業 (担当課：防災安全課)	現状維持	継続推進	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、町民の防災意識向上のため、地域主催の防災訓練への支援や講演会等を開催するとともに、機会を捉えた啓発活動を実施する。